

Kagurazaka PJ



Kenichiro Yoshida(M2)

Urban Design LAB.
School of Engineering,
Department of Urban
Engineering
The University of Tokyo

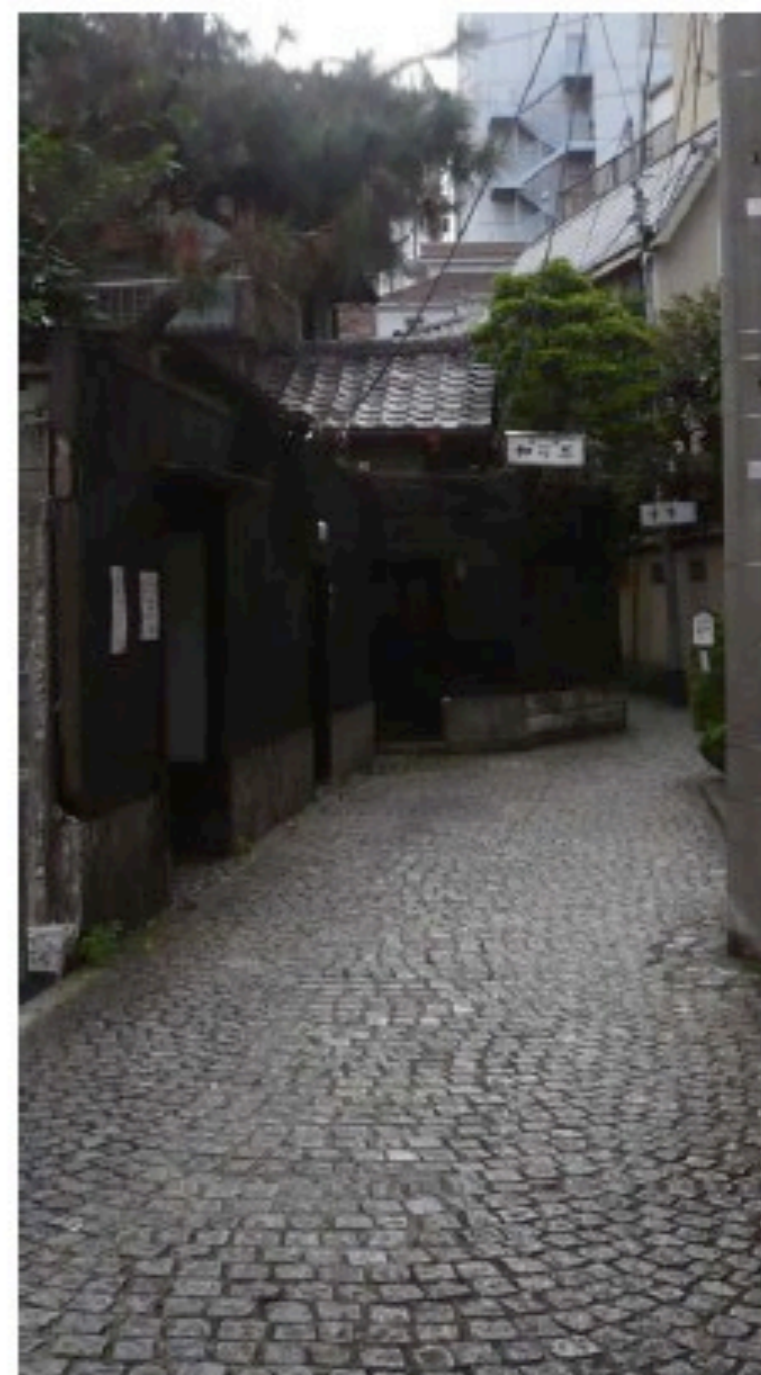
神楽坂とは

- 東京都心部の商業地でありながら、かつての花街の歴史や文化を伝えるまち
- 路地、階段、フランス料理店...
- 2010年住みたい町ランキング第9位



神楽坂の歴史と文化の継承

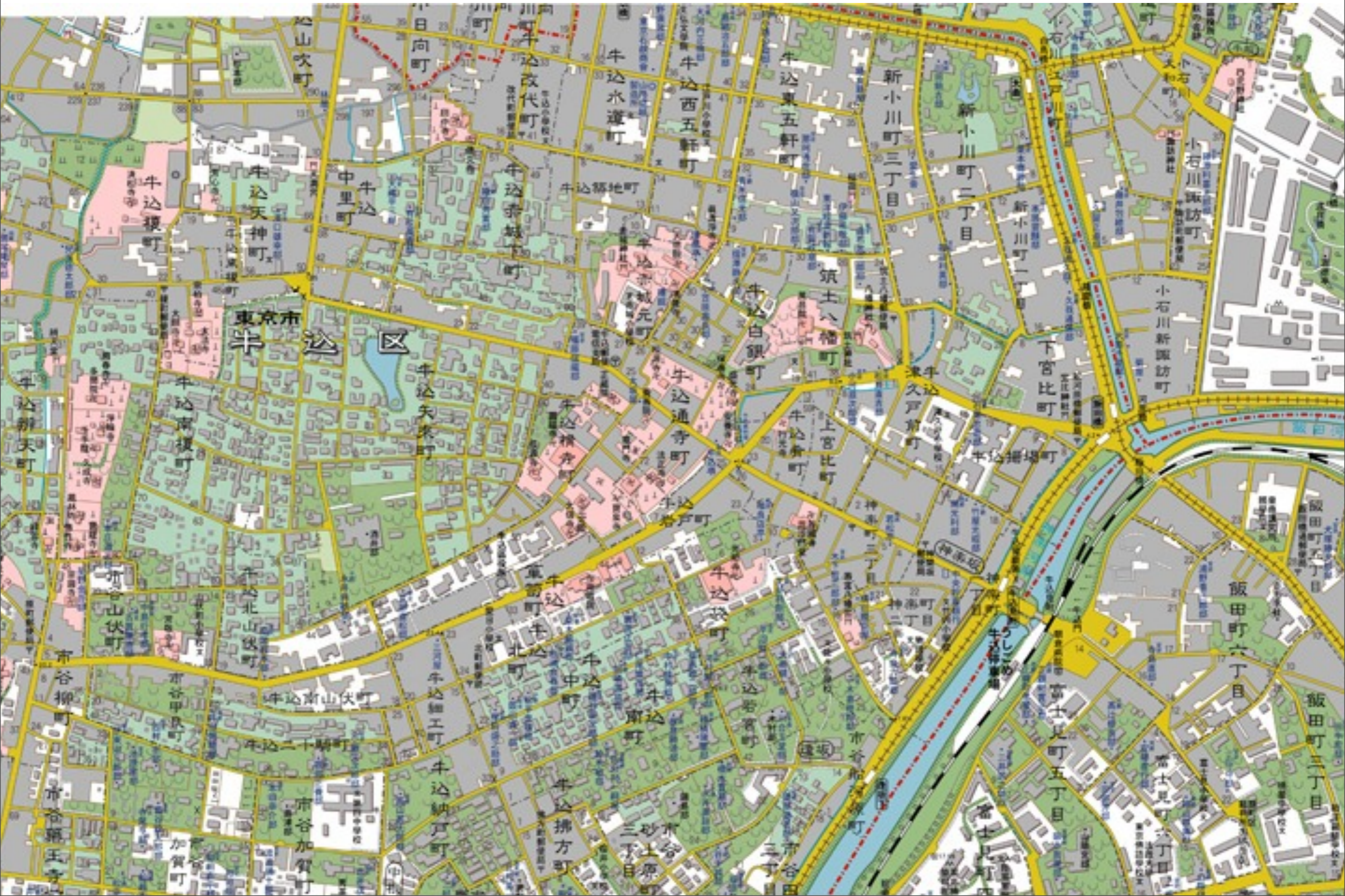
- ・第二次世界大戦時に空襲被害に遭っており、元々の古くからある町並みは残されていない
- ・しかし、間口の狭い町割は継承されており、それが沿道景観の基礎を形作っている
- ・近年、テレビドラマ放映後、全国的な観光地としてより認知され、来街者の急増、新規出店する店舗も増加。
→神楽坂の景観は今もなお大きく変化し続けている
- ・何を維持・保全することで神楽坂らしさが維持されるのかが、常に議論されている



江戸



明治



現代



神楽坂のまちづくりは、都心住商混在地におけるまちづくりの先進事例

- 1990年前後よりまちづくりの会が発足、まちづくり憲章などがつくられる
- 2000年前後より起こる超高層マンション建設を巡っての住民運動が起こる
- まちづくり活動が活発化、住民主導による地区計画の導入などの実績

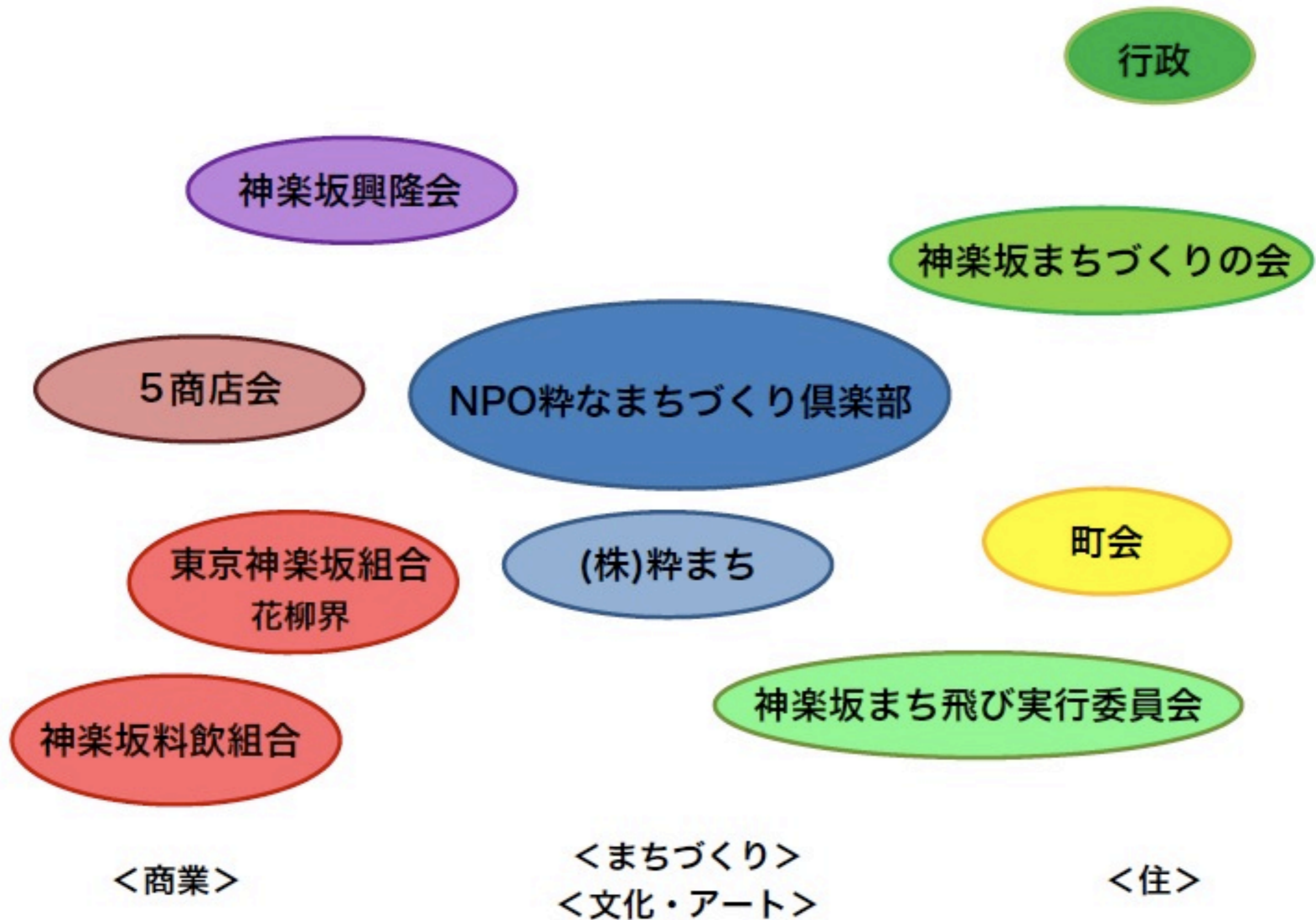
■都市計画的課題と関心

- 高い開発圧力や多主体の関与
都心の住商混在地の課題や状況を代替しうる
- まちづくりが行政主導から地域主導へと展開
- NPOを中心に内外の多様な主体の参加と連携がなされている
- 地域資源（文化など）を活かしたまちづくり活動を展開している
他の都心住商混在地における保全まちづくりへ示唆に富む

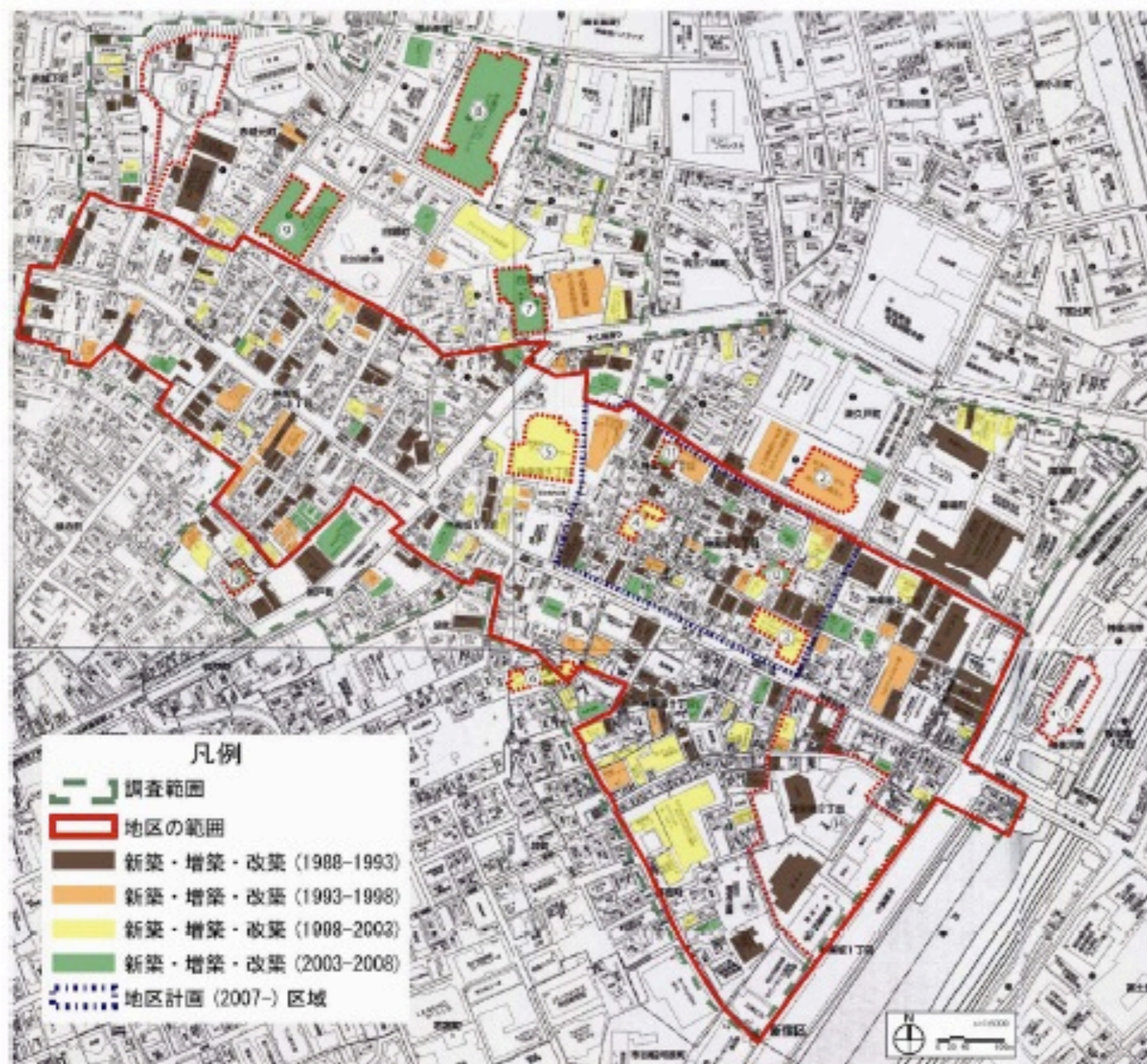


まち飛びフェスタ

神楽坂のまちづくりを担う多様な主体



神楽坂のまちづくりの主な課題は、建替えの増加とそれに伴う建物の大規模化による街並みの変容である

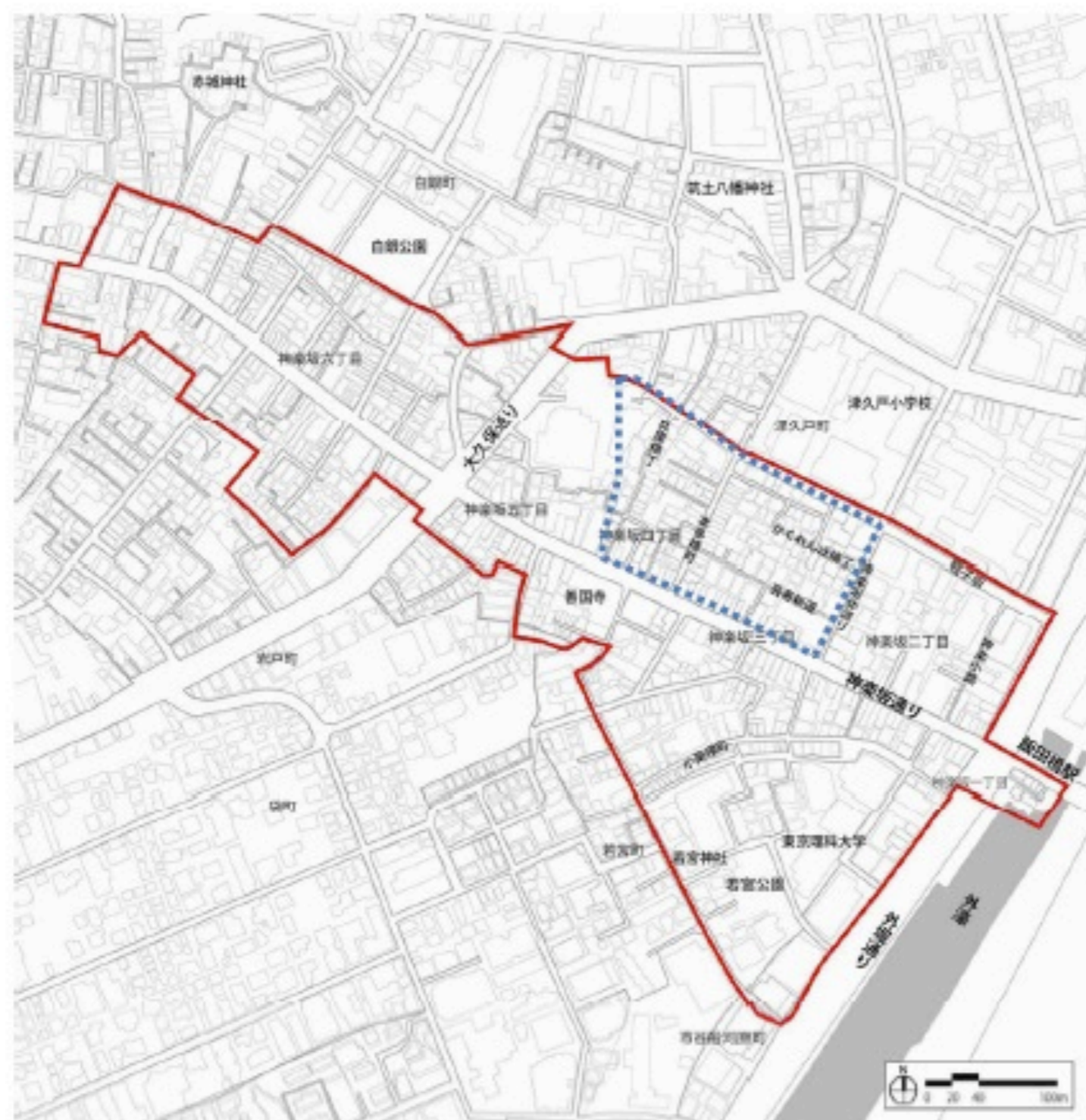


- 変容の主な要因は、高い開発圧力を実現する高い容積率 (500%)



超高層マンションの開発

新宿区の保全施策は神楽坂にとって不十分であったが近年詳細化、拡充が図られてきている



1992 景観まちづくり条例
中高層建築物の事前協議

2006 絶対高さ制限の導入



2007 地域主導で地区計画作成

2008 景観行政団体への移行

2009 景観計画の作成
詳細な事前協議の導入

神楽坂では地区計画区域を対象に
高さ > 7m 又は延べ面積 > 300㎡
が事前協議対象になる

～2008

- 景観ガイドブック（新宿区発行）作成のための調査
- それをもとに2008年に地元の人へ発表。
- 街歩きで地元の人を案内



～2009

- 住環境／商業調査
- 地元と協働によるまちづくりルールWS
- まちづくりキーワード第2集発行へ



2010～

1. 登録文化財事業

神楽坂の象徴となる建物の保存の

ための取り組み

地元建築家との協働作業



2. 花街研究

花街建築の残存状況及び景観特性

の調査

新潟・京都との協働研究

2010年度活動年表

登録文化財事業

花街研究

— 4

— 5

— 6

- ・登録文化財概略調査
- ・住民向け勉強会

— 7

— 8

- ・矢来能楽堂実測調査
- ・和可菜実測調査
- ・新宿区中間報告
- ・住民向け勉強会

— 9

- ・宮城道雄記念館実測調査

— 10

- ・常盤家実測調査

実測作業

— 11

— 12

— 1

— 2

— 3

(報告書づくり)

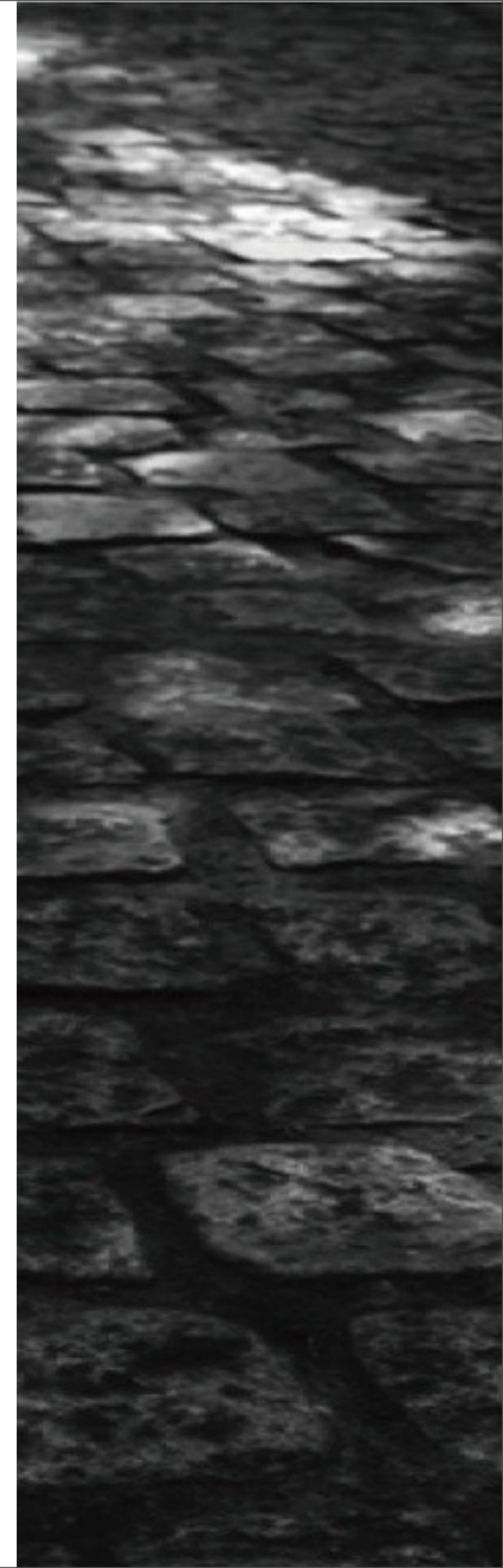
— 4

- ・新潟古町花街シンポジウム
+お座敷体験

- ・お座敷遊び入門講座

- ・花街研究ヒアリング

- ・神楽坂お座敷体験



1. 登録文化財事業

新宿区協働事業

登録文化財制度を利用した歴史的景観保存事業◎調査票

記入日：2010. 6. 24

記入者名：山下、吉田

地域名	笹笥地区(YR-3)	所在地	新宿区矢来町110
建物名称・屋号	清水屋		
居住者		所有者	
所有者の住所			
用途	店舗併用住宅		
構造	木造		
規模	2 階建て		
屋根形状	その他（切妻入り2列）		
屋根葺き材	瓦（色まばら）		
外壁材料	リシン（掻き落とし）		
形式	和風		
建築年代 （その根拠）			
各部意匠	木製建具・板金雨戸		
備考	<p>玄関部分（北側）の意匠が細かい店舗併用住宅の建築。屋根形状が特殊で大きさの異なる2列の切妻屋根になっている。</p> <p>1F店舗（写真左側）の入り口上部に切妻屋根の庇と欄間、その上部に扁額、入り口横に飾り窓といった店舗としての意匠にこだわりが見られる。</p> <p>住居（写真右側）入り口上部にかまぼこ型欄間と一文字瓦を使った霧除け庇がついている。</p>		
			

概略調査（6月～7月）

神楽坂エリア内の建物の外観
を全て調査



文化財登録にふさわしいと思われる
建物の抽出



シート作成、建物の特徴を記入

1. 登録文化財事業



常盤家



あゆみギャラリー



矢来能楽堂



宮城道雄記念館

実測風景 @ 矢来能楽堂





実測風景 @ 常盤家

1. 登録文化財事業



勉強会（6月～8月）

- ・住民の方々に登録文化財とその制度について説明、ディスカッション
- ・他都市における登録文化財を活かしたまちづくりの先進事例紹介



2. 花街研究

- 神楽坂の花柳界に関係する文化的景観の調査
- 戦前の建築、まちの景観を抽出
 - …目視による判定＋ヒアリング
 - 登録文化財概略調査の活用？
 - 戦後神楽坂花柳界の最盛期（昭和30年代に神楽坂で育った世代）
- その他文献、各都市の事例調査



茶はん

FIRE HYDRANT
消火栓

P
フレンドパーク

花街まちあるき @新潟市古町



お座敷体験@千月

2. 花街研究

2011年度の予定

I) ヒアリング調査の継続

II) 文献調査＋写真集め

III) 建物（ファサード）調査

→戦前、戦後、修繕後…どこにオリジナリティがあるのか？戦前、最盛期の資料と合わせて調査

3. その他活動



まちづくりに熱心な方たちと、様々なイベントの手伝いを通じて
交流を深めることができる